

民主主義について考えよう

令和2年 10月9日(金) 6校時 3年2組教室 3年2組29名(男子13名 女子16名)

1 単元について

- 本単元は中学校学習指導要領解説公民的分野「C 私たちと政治」の内容に基づき、中学校学習指導要領解説には以下のように記されている。

(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本原則

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解すること。

(イ) 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解すること。

(1) 単元観

個人の尊厳と人権の尊重の意義を認識させ、民主主義に対する理解を深めさせる単元である。民主主義のしくみや、民主主義がどのように発展してきたかという知識を身につけさせるだけではなく、民主主義の価値を実感させたい。そこで本単元は、ジョン・ロールズ「無知のヴェール」という思考実験をもとに構成した。

(2) 生徒観

本学級の生徒に事前に行ったアンケートでは、民主主義は大切だと思うかという問いに対して肯定的評価は96%であった。一方、民主主義がどのように発展してきたか自分なりに説明できるかという問いに対しては否定的評価が71%、民主主義がなぜ大切なのか自分なりに説明することができるかという問いに対しては否定的評価が54%であった。また、学力診断テストでは、思考力・判断力・表現力を問う問題の正答率が20%となっており、課題がある。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、歴史的分野の学習を振り返りながら、民主主義とはどのような仕組みで、どのような歴史的過程をたどって実現されてきたかを理解させたい。本時の授業で、なぜ民主主義に価値があるのかを考えさせるにあたっては、抽象的な議論になりすぎないように、「無知のヴェール」という思考実験を、具体的に捉えることのできる社会のパターンをいくつか挙げ、比較することができるようにすることで生徒の考察の手助けとしたい。生徒が理解しやすいように思考実験のルールを説明する際にはICTを活用する。

(4) 単元の目標

- 人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方から、民主的な社会生活について考えようとしている。【ア. 社会的事象への関心・意欲・態度】
- 民主主義の価値について、個人の自由や権利とそれらの相互承認という視点から考察し、表現することができる。【イ. 社会的な思考・判断・表現】
- 人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さに関する資料や図表を読み取っている。【ウ. 観察・資料活用の技能】
- すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心にして、人間の尊重の考え方は法によって保障されていること、法にもとづく政治が民主政治の基礎になっていること、基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであることを理解し、その知識を身につけている。【エ. 社会的事象についての知識・理解】

2 単元の評価規準

観点	ア. 社会的事象への関心・意欲・態度	イ. 社会的な思考・判断・表現	ウ. 観察・資料活用の技能	エ. 社会的事象についての知識・理解
評価規準	①人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方から、民主的な社会生活について考えようとしている。	①民主主義の価値について、個人の自由や権利とそれらの相互承認という視点から考察し、表現することができる。	①人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さに関する資料や図表を読み取っている。	①すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心にして、人間の尊重の考え方は法によって保障されていること、法にもとづく政治が民主政治の基礎になっていること、基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであることを理解し、その知識を身につけている。

3 指導計画（3時間）

次	学習活動	評価規準 【観点】（評価方法）
一	<p>・民主主義とはどのようなしくみで、それを実現するためにどのような取り組みが必要なのかを考える。</p> <p style="text-align: center;">【単元を貫く課題】なぜ民主主義が大切なのか考えよう。</p>	<p>【ア①】（ワークシート）</p> <p>【エ①】（ワークシート）</p>
二	<p>・民主主義と人権の保障は、どのような歴史的過程をたどって実現してきたのかを理解する。</p>	<p>【ウ①】（ワークシート）</p> <p>【エ①】（ワークシート）</p>
三	<p>・社会モデルを比較し、どの社会モデルが望ましいか考えることで、個人の自由や権利を守り、それらの相互の承認をすることができる社会（民主主義社会）が望ましいということを考察し、表現する。</p> <p style="text-align: right;">（本時）</p>	<p>【イ①】（ワークシート）</p> <p>【ア①】（振り返りシート）</p>

4 本時の展開（3／3時間）

(1) 本時の目標

社会モデルを比較し、どの社会モデルが望ましいか考えることで、個人の自由や権利を守り、それらの相互の承認をすることができる社会（民主主義社会）が望ましいということを考察し、表現することができる。

(2) 観点別評価規準

ア①人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方から、民主的な社会生活について考えようとしている。

イ①民主主義の価値について、個人の自由や権利とそれらの相互承認という視点から考察し、表現することができる。

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手だて (C)
個人の自由や権利を守り、それらの相互の承認をすることができる社会（民主主義社会）が望ましいということを考察し、表現している。	個人の自由や権利を守る社会が望ましいということを考察し、表現している。	民主主義社会よりも身分制社会や個人の自由や権利を守らない社会の方が望ましいと考えている。

<p>記述例1 個人の自由や人権を大切にして、国民みんながそれらを認め合える民主的な社会が大切だということが分かった。</p>	<p>記述例1 個人の自由や人権を守る社会にしていくことが大切だと思った。</p>	<ul style="list-style-type: none">・身分制社会や個人の自由や権利を守らない社会ではどのような事が起きるか歴史的分野の学習を振り返る。
---	---	---

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 配慮を要する生徒への支援 (◆)
<p>1 既習事項の確認</p> <p>2 本時の学習課題を確認</p>	<p>○民主主義とはどのようなしくみか、またどのような歴史的経緯をたどって実現したか確認する。</p>	
<p>めあて：どのような社会が望ましいか考えることができる。</p>		
<p>3 社会モデルを比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリクス (シンキングツール) を使って、社会モデルA～Dそれぞれの長所や短所を整理し、比較する。 ・ペア学習で確認する。 <p>4 最も良い社会モデルを選び、その理由を考える。</p>	<p>○ICTを利用してルールを提示する。</p> <p>○それぞれの社会モデルを紹介する。 資料I (ワークシート) 参照</p> <p>○自己決定させ、意欲の向上を図る。</p> <p>○社会モデルの説明の中のキーワードを使って理由を書かせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>瀬戸田シン キングタイム</p> </div> <p>◆ペア学習で考えを交流</p> <p>◆机間巡視し、個別にキーワードを例示する。</p>
<p>5 発表し、交流する。</p> <p>6 どのような社会が望ましいか考え発表する。</p> <p>7 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 	<p>○選んだ社会モデルごとに理由を発表させ、良い社会の条件はどのようなものかキーワードから考えさせる。</p> <p>○個人の自由や権利とそれらの相互承認が大切であることを確認する。</p> <p>○民主主義社会が個人の自由や権利とそれらの相互承認のために最も適したしくみであることを確認する。</p>	<p>イ) ①民主主義の価値について、個人の自由や権利とそれらの承認という視点から考察し、表現することができる。(ワークシート)</p> <p>ア) ①人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方から、民主的な社会生活について考えようとしている。(振り返りシート)</p>

※□囲みで示した活動が、本時におけるシンキングタイムである。